

茨城県中央地域定住自立圏共生ビジョンの取組状況及び評価について

県中央地域定住自立圏（笠間市外 8 市町村）では「安心して住み続けられる、笑顔で行き交う圏域」を将来像とする定住自立圏共生ビジョン（平成 29 年 2 月策定、以下「共生ビジョン」という。）を策定し、平成 29 年度から医療・福祉・産業振興・環境・教育・地域公共交通・人材育成の 7 つの政策分野における取組みを行っております。

その中で、6 月に開催した第 6 回茨城県中央地域定住自立圏共生ビジョン懇談会、県中央地域首長懇談会において平成 29 年度の取り組みの評価を実施しましたので、結果について報告します。

1. 平成 29 年度の取組

政策分野	取組の内容	事業費（千円） （笠間市負担分）
1 医療分野	①診療所情報共有・啓発事業 ②小児科医確保対策事業 ③看護師等確保事業 ④小中学生病院体験ツアー事業	48,412 (313)
2 福祉分野	①成年後見制度の普及啓発 ②成年後見制度の利用支援 ③市民後見人の養成及び活動支援 ④成年後見制度法人後見支援 ⑤法人後見の受任 ⑥県中央地域成年後見支援事業の運営支援	23,127 (129)
3 産業振興分野	①県中央地域内の観光マーケティング調査 ②県中央地域魅力発信事業 ③周遊型観光の推進事業	22,259 (2,715)
4 環境分野	①エコライフチャレンジ ②環境啓発イベントの相互参加	669 (50)
5 教育分野	①公の施設の広域利用に係る P R 事業 ②公の施設の広域利用に係る利便性向上事業	687 (76)
6 地域公共交通分野	①公共交通の維持・確保 ②公共交通の利用促進	18,785 (988)
7 人材育成分野	①職員の能力向上に向けた研修会の合同開催及び相互参加	0 (0)

2. 平成 29 年度総事業費 113,939,408 円（全額特別交付税措置）
うち笠間市負担額 4,271,160 円